

団体名	最上マイプロジェクト推進運営委員会		
事業名	#学びの土壌づくり vol. 2 ～学びと実践でつくるラーニングコミュニティ～		
助成事業区分	協働助成事業（一般型）		
団体の 所在市町村	新庄市	事業費	493,000円
		うち助成金額	450,000円



第1回目講師 山形大学准教授 森田智幸氏



第2回目講師 津和野高校高校魅力化コーディネーター 山本竜也 氏

## ■ 事業目的

最上総合支庁、最上地域市町村、各高等学校、工業団地、商工会議所等が協働により運営している「新庄ジモト大学コンソーシアム事業」は、高校生が地域で活動する中でこれからの社会を生き抜く力を育てることを目的に実施している。

この高校生の活動に寄り添い一緒に活動してくれる大人を増やすことで、当地域の教育文化（学びの土壌）の定着と拡大を目的とし、「学びの共同体（ラーニングコミュニティ）」の機能強化と地域活性化を目指している。

## ■ 実施内容

### ① 4回のオンラインでの研修会を実施

○ イントロダクション（7月20日）

テーマ：「変わる社会と学び

の意義」

講師：Idea partners 代表  
山本一輝 氏

○ 1回目（9月7日）  
テーマ：「世界の学び、山形の学びから」

森田智幸 氏

○ 2回目（11月5日）  
テーマ：「自分らしく動く、究める、まとめる」

山本竜也 氏

○ 3回目（1月18日）  
テーマ：「リフレクションからはじまる成長」

山本一輝 氏

### ② 高校生の活動への伴走

高校生のさまざまな探究活動を支援・伴走

## ■ 事業の成果及び今後の展望

### ① 事業の成果

オンラインで4回の研修会を実施し、大人や大学生の「学びを通じたつながり」をつくることができた。特

に今年は、先生方の参加が増え、教師と地域の大人のつながりができはじめた。

高校生への支援については、雪国の魅力を発信する「ウィンタープロジェクト」、ボードゲームを通して交流を図る「ボドゲプロジェクト」、様々な高校生が企画参加する「まちとしよステーション」など、多様な活動に地域の大人が支援・伴走することができた。

### ② 今後の展望

令和元年度から3年間続けてきたこの活動を、令和4年度も行うことで、高校生に伴走してくれる大人のネットワークがさらに拡大することを期待している。

高校との連携も深まってきたおり、今後それをさらに中学校や小学校に広めていくことで、「学びの土壌」をつくっていきたい。